

# 鎌倉日和

vol.45

読書の秋、スポーツの秋、芸術の秋・・・皆さんは真っ先に何を思い浮かべますか？青空が多く、風が爽やかで過ごしやすい季節になり、何か新しいことを始めてみようかと考えている方もいらっしゃるかもしれません。

私もステップアップを目指して、最近とある勉強を始めました。ハワイのような常夏の国もいいですが、季節の変化がやる気を後押ししてくれるというのも、四季のある国ならではの良さだと感じています。



## 鎌倉ブランドのお客様

### 鎌倉はんこ様

#### ● 鎌倉の印章店として ●

JR 鎌倉駅西口から徒歩 3 分の場所にお店を構える鎌倉はんこ様。デジタル化でハンコレスが進む中で、こういった想いで事業をされているのか、月野允裕さんにお話をうかがいました。

月野さんのおじい様が奈良で印章業を創業し、月野さん自身は 3 代目となります。奥様とともに、国家資格の印章彫刻技能士を取得し、すべて手作業で一つ一つ店内で彫刻をしています。大学卒業後、一旦は IT 系企業に勤めましたが、日本独特の印章文化を継承していきたいと思い、あらためてこの世界に入ったそうです。



文化継承の観点から、開業の場所は歴史的・文化的な土地を選びたいと月野さんは考えていました。そして、神奈川に縁があったこともあり、鎌倉でお店を開くことに決めました。

印章店の敷居を下げたいと、開業当初は名刺などの軽印刷や、ポップで文房具のような印鑑も扱っていましたが、鎌倉で事業を続けるほどに、「鎌倉の印章店」として自身が果たすべき役割を意識するようになったといいます。

中国から伝わった「印」は、日本の歴史とともに独自の発展を遂げ、1300年以上の時を刻んでいます。「印」は、決断や意思を表示する身代わり・分身であると考えている月野さん。印鑑を文具のようにただ売るのではなく、「身代わり・分身」として



の意味合いを一人でも多くの方に伝えていきたいと考えています。だからこそ、お客様が人生の節目にその印を使うとき、その意思決定を後押しできるよう、しっかりと気持ちを込めて彫っていくことを心がけているそうです。



#### ● 鎌倉彫で御朱印を ●

「鎌倉でしかできないことを」と考え、数年前から伝統鎌倉彫事業協同組合と連携し鎌倉彫の印鑑を制作しています。こちらは、「かまくら推奨品」にも認定されていますが、2021年より、寺社仏閣で使用する御朱印の制作プロジェクトへスケールアップしています。

寺社仏閣の方々がこういった御朱印を求めているのかヒアリングを重ね、紋様の意味合いを考えながら丁寧に印影を再現したそうです。鎌倉彫職人が印章の装飾部分を彫刻塗装、月野さん夫妻が印影部分を彫刻し、約 1 年かけて共同制作した鎌倉彫御朱印は約 30 個。鶴岡八幡宮、明王院や浄妙寺といった鎌倉十三仏に奉納され、この秋から実際に使われていく予定です。



もともと仏具神具の技術だった鎌倉彫を御朱印として寺社仏閣にお戻しするという意味合いもあり、また、時間をかけて味わいが出てくるという特性のある鎌倉彫は御朱印に最適です。悠久の時間が流れる寺社仏閣で、御朱印が脈々と使いこなされて歴史の一部となっていく。月野さんや鎌倉彫の職人にとってもやりがいのあるプロジェクトであり、「鎌倉だからこそできる」全国唯一の御朱印で、神様と参拝者との心をつ



なぐことができると寺社仏閣の方々からも喜ばれています。

今回、当事務所制作の動画「鎌倉ブランド物語<sup>®</sup>」で鎌倉彫御朱

印プロジェクトの様子をまとめさせていただきましたが、月野さんはもちろんのこと、これにかかわる誰もが鎌倉に誇りをもっていることを改めて実感しました。そして、その想いが鎌倉ブランドを育てます。私たちは鎌倉が魅力ある鎌倉であり続けられるよう、鎌倉に誇りをもち、事業を営む皆様をこれからもサポートしていきたいと思ひます。

鎌倉彫御朱印の動画を「鎌倉ブランド物語<sup>®</sup>」にて公開中です。  
<https://youtu.be/W2h5BhRplio>  
以下↓のQRコードよりぜひご覧ください。



#### 鎌倉はんこ

神奈川県鎌倉市御成町5-6  
TEL: 0467-37-9297



<https://www.kamakura-hanko.com/>



## ● 名字を用いた商標 ●

月野さんは、印鑑について、「月野印」という商標を使っています。今回の「ブランドのタネ」は、この「月野印」という商標をテーマに、名字を用いた商標について説明したいと思います。

商標は、一般的な名字について登録を受けられないというのが原則です。

法律では、「ありふれた氏」と規定されていますが、基本的に、「山崎」「WATABE」など、単なる名字は商標登録を受けられません。また、「あしだ商店」「吉田珈琲」など、名字に商品や店名などを付けただけというのもアウトです。

事業を行うにあたり、創業者の名字を商標として使用するのは、実に一般的です。「TOYOTA」の創業者は豊田喜一郎さん。「SUZUKI」の創業者は鈴木道雄さん。「イトーヨーカ堂」も伊藤雅俊さんの洋品店がもとになっています。

「イトーヨーカ堂」はともかく、一般的な名字や、それに商品をつけただけのような商標に商標権を認めてしまうと、全国に多数存在する同じ名字の方が、自分の名字で事業を行えないことになってしまいます。それは拙かろう、ということで、一般的な名字は登録を受けられない、ということにしているのです。

## ● 特例規定がある ●

ここで、アレッと思いませんか？

じゃあ、「TOYOTA」「SUZUKI」は商標登録されていないのでしょうか。パクリまくりOK？

いやいや、そんなわけありません。

こういう、全国的に有名な商標は特例として登録を認めることが商標法

に別途規定されており、「TOYOTA」「SUZUKI」や、「ヤマザキ」「コマツ」「クボタ」のように、パッと見て、ああ、あの会社ね。と思えるような会社は、すべて特例規定で登録されています。



(参照：鎌倉はんこHP)

## ● 一般的（ありふれた）の判断基準は？ ●

さて、話を「月野印」に戻しますが、「月野」という名字に、印鑑の「印」がついた商標は商標登録を受けることができますでしょうか。

# 月野印

第 6480483 号

\* \* \* \* \*

結論として、「月野印」は商標登録を受けることができました。悩ましいのは、一般的（ありふれた）とは、何ををもって判断するのか、という点です。

特許庁や裁判所は、伝統的に電話帳掲載の人数等を用いて、この要件を判断していましたが、現在は、インターネットで、全国におけるその名字を持つ人の人数や数の順位を調べることができます。

全国の人数順位が 2000 番以上ならば該当し、それ未満なら該当しない、などと決めてくれれば楽なのですが、そういうものでもありません。

# ミタ

第 6413890 号

過去の審決では、2500 番付近の「AMINO（網野）」をありふれた氏と認定している一方で、650 番の「ミタ（三田）」、

1200 番付近の「ITAYA（板谷）」は登録が認められています。単純に人数というわけではなく、その名字の著名人の存在や、名字以外の他の

# ITAYA

第 5321612 号


意味の連想、その商品を取り扱う業界における知名度など、「名字として認識されるか」という観点で、総合判断がされているようです。

ここで、「月野」の人数順位を調べると、…およそ 6500 番。全国で約 1400 人しかいないとのこと。イメージとしては、もう少し人数がいらっしゃるものかと思いましたが、実にレアです。

さすがの特許庁も、650 番を「ありふれてない」としつつ、6500 番を「ありふれている」とは言えません。

「月野印」に対して「ありふれた名字」であるとの指摘はされませんでした。

商標担当弁理士 芦田 圭司

<p>鎌倉はんこ様が当事務所の印鑑を作ってくださいました。どんな印鑑なのだろうかと期待に胸を膨らませながら桐箱をそっと開くと、赤いベルベットに優しく包み込まれるように印鑑ケースが置かれています。早く見たいとはやる気持ちを抑えながら、今度は印鑑ケースを開きます。</p> <p>木目の美しい印鑑を取り出し、印面を見た瞬間、スタッフ一同驚嘆の声があがりました。金色に塗られた印影部分は、まるで浮き出ているようで、とにかく美しい。</p> <p>中央に当事務所の鳥モチーフのロゴが配置され、それを丸く囲</p>	<p>む形で「将星国際特許事務所」と彫刻されています。</p> <p>鳥モチーフのロゴには、将星の名前の由来にもなっている星が三つきちんと再現されており、そういった繊細な部分まで手彫りできるという技術力の高さに驚きました。</p> <p>月野さんが、印鑑は単なる文房具ではなく「身代わり・分身」であるとおっしゃっていましたが、この印鑑を実際に手にして、「そういうことか」と思わずうなずいてしまうほどの説得力があります。</p> <p>今後、当事務所のお客様へお送りする書類にも押しして</p>	<p>いきたいと思いますので、ぜひ楽しみにしていただければ幸いです。</p> 
--	--	--

SHOUSEI International Patent Office

# 将星国際特許事務所

〒248-0006

神奈川県鎌倉市小町2-11-14 山中MRビル3F

TEL : 0467-73-8540 (平日10:00~18:00)

FAX : 0467-73-8541

Email : info@shousei.jp

URL : https://shousei.jp/

